

一般会計は138億400万円

平成18年度当初予算

平成18年度の当初予算概要をお知らせします。

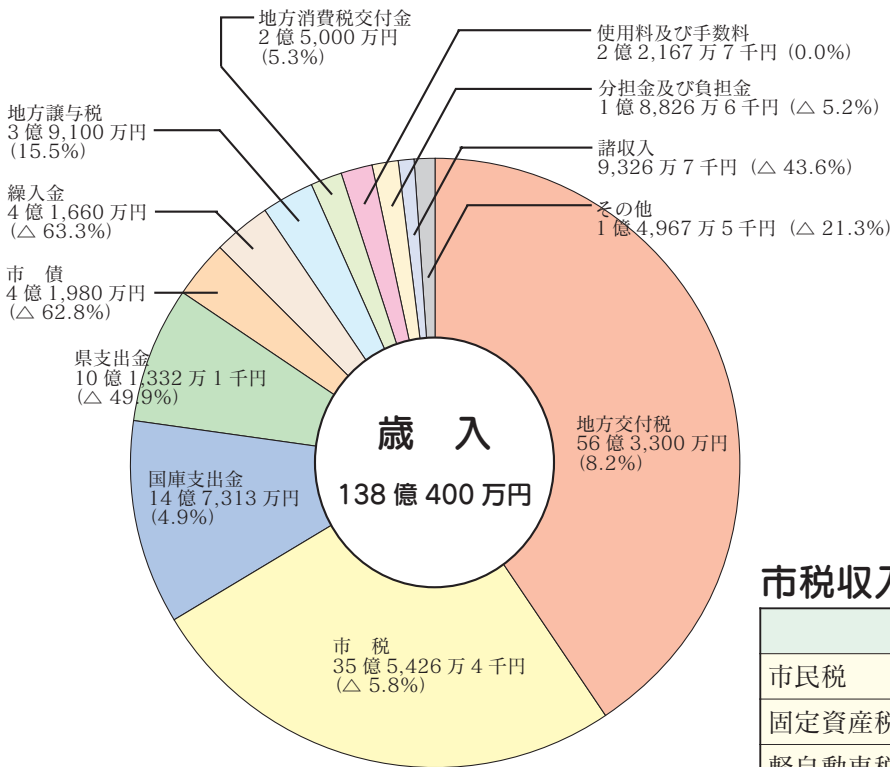
平成18年度の当初予算は、政策的経費（普通建設事業費などの臨時的経費）を極力抑え、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）を中心に編成した予算（骨格予算）となっています。

一般会計は138億400万円で、前年度当初予算と比べ、22億1607万円（13・8パーセント）の減少となっています。

なお、今回の予算は合併次年度ということもあり、対前年度の数値は旧1市2町（松浦市、福島町、鷹島町）の平成17年度当初予算額を合計した数値と比較しています。



オーストラリア・マッカイ市民との交流の様子



市税収入の内訳

(単位：千円、%)

	18年度予算	伸び率
市民税	721,560	0.9
固定資産税	2,623,634	△7.9
軽自動車税	55,923	2.8
市たばこ税	151,620	△1.9
都市計画税	201	0.0
入湯税	1,326	△13.7
合計	3,554,264	△5.8

※伸び率は17年度当初予算額との比較

() は 17 年度当初予算額と比較した伸び率

一般会計

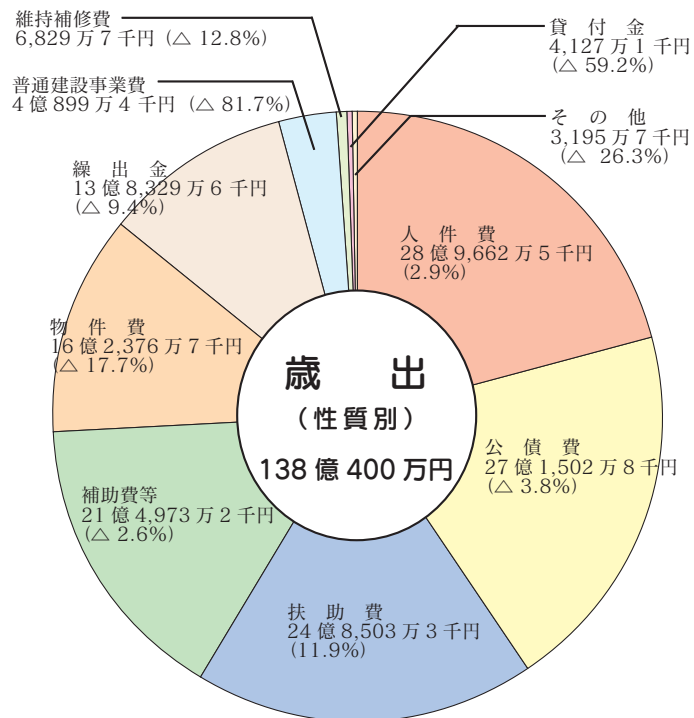
【歳入】

歳入の内訳では、地方交付税56億3300万円（8・2%増）、市税が35億5426万4千円（5・8%減）、国庫支出金（4・9%増）、県支出金（49・9%減）市債（62・8%減）の順となっています。市税収入が減少したのは、火力発電所の固定資産税（償却資産分）の減少が主な要因です。国庫支出金の増加は、生活保護費負担金の増加が主な要因です。

また、県支出金の減少は、地域水産物供給基盤整備事業補助金の減少が主な要因になっています。さらに本年度は、収入不足を補うため、財政調整基金を1億円取り崩す予算を計上しています。

【歳出】

歳出の内訳（性質別）では、人件費28億9662万5千円（2・9%増）、公債費27億1502万8千円（3・8%減）、扶助費24億8503万3千円（11・9%増）、補助費等21億4973万2千円（2・6%減）物件費16億2376万7千円（17・7%減）の順となっています。



() は 17 年度当初予算額と比較した伸び率

特別会計・企業会計

特別会計では、土地区画整理事業が平成17年度に引き続き平成18年度は換地を実施します。また企業会計では下水道事業が、終末処理場の用地購入および建設工事に着手する予定です。また、下水道管約4キロの敷設工事を予定しています。

人件費の増加は長崎県市町村総合事務組合の退職手当事業加入に伴う負担金によるものです。扶助費の増加の主な要因は、旧福島町、旧鷹島町に係る生活保護の決定と実施に関する事務を、平成17年度までは県北福祉事務所で行っていましたが、合併により松浦市で行うためです。

歳出（目的別）

(単位：千円、%)

予算科目	18年度予算	構成比	伸び率
民生費	4,219,513	30.6	3.2
公債費	2,715,028	19.7	△3.8
総務費	1,897,577	13.7	△4.7
衛生費	1,408,589	10.2	△0.9
農林水産業費	1,172,432	8.5	△49.7
教育費	891,732	6.5	△14.0
消防費	549,141	4.0	△6.3
土木費	469,395	3.4	△57.8
商工費	215,051	1.6	△17.0
議会費	171,345	1.2	△41.0
その他	94,197	0.6	16.4
歳出合計	13,804,000	100.0	△13.8

※伸び率は17年度当初予算額との比較

【用語の説明】

- ◆ **骨格予算**：地方公共団体の長や議員の選挙時期などの関係から、政策的な判断ができてにくいなどの理由により、人件費など必要最小限度の経費を計上する予算。
- ◆ **扶助費**：生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法などの法令に基づいて支出する経費。また、地方自治体独自の支出も含まれる。
- ◆ **公債費**：各種事業を行うために借り入れたお金を返済する経費。
- ◆ **市債**：各種事業を行うために借り入れるお金など。
- ◆ **財政調整基金**：年度間の財源の不均衡を調整するための積立金（貯金）。

主な事業

- 地域審議会開催費（委員報酬、旅費） 110万円
- 人材育成事業費補助金（マツカイ市との青少年海外交流事業など） 429万円
- 高齢者通院航送料助成費（飛鳥地区、黒島地区） 80万円
- 総合健診事業（基本健診、がん検診、骨粗鬆症健診など） 5200万円
- 合併処理浄化槽設置整備事業補助金 1539万円
- 資源物回収活動奨励補助金 602万円
- 家庭用生ごみ処理機器購入費補助金 150万円
- 火葬場使用料補助金（旧鷹島町民が火葬場（松浦斎苑、肥前斎場）を使用する場合に助成） 170万円
- 北松北部環境組合負担金 4億7789万円
- 漁港建設事業 1億円
- 地域水産物供給基盤整備事業 2億1500万円
- 松浦体験型旅行事業費補助金 1300万円
- 外国語指導助手報酬 1540万円
- 埋蔵文化財（海底遺跡）探査事業（潜水調査、海底遺跡探査、出土品保存処理） 1885万円

特別会計

（単位：千円、%）

会計名称	18年度予算	伸び率	備考
青島出張診療所事業	44,674	3.2	松浦
土地区画整理事業	156,178	0.7	松浦
鉱害復旧灌漑用水施設維持管理事業	18,419	83.6	福島
国民健康保険	3,141,403	6.5	松浦、福島、鷹島
老人保健	3,772,500	△4.5	松浦、福島、鷹島
介護保険	2,246,282	2.0	松浦、福島、鷹島
簡易水道事業	472,955	3.6	松浦、福島、鷹島
福島診療所事業	266,529	△6.7	福島
鷹島診療所事業	189,900	皆増	鷹島
下水道事業	329,203	△20.1	福島、鷹島
松浦魚市場	110,339	△4.5	松浦
臨海土地造成事業	154,184	304.3	松浦

※伸び率は17年度当初予算額との比較
備考欄の団体名は、平成17年度予算を計上していた旧市町名
鷹島診療所事業については、合併に伴い特別会計を設置したため皆増

企業会計

（単位：千円、%）

会計名称	18年度予算	伸び率	備考
水道事業	収益的収入	354,935	△7.5
	収益的支出	379,369	△0.6
	資本的収入	19,314	△95.6
	資本的支出	129,464	△79.7
工業用水道事業	収益的収入	165,574	0.0
	収益的支出	157,721	△31.5
	資本的収入	1	0.0
	資本的支出	1	△99.9
病院事業	収益的収入	778,701	△0.2
	収益的支出	920,112	△2.4
	資本的収入	33,321	3.7
	資本的支出	57,227	3.2
下水道事業	資本的収入	338,028	△71.1
	資本的支出	362,202	△68.6
交通事業	収益的収入	46,081	17.4
	収益的支出	46,081	17.4
	資本的収入	7,590	皆増
	資本的支出	7,590	93.3

※伸び率は17年度当初予算額との比較
備考欄の団体名は、平成17年度予算を計上していた旧市町名

松浦市民1人当たりの予算と市債残高

一般会計当初予算を松浦市民1人当たり（18年3月1日の住民基本台帳人口27,758人）で見ると次の表のようになっています。総額は49万7,298円となり、17年度と比べ7万9,835円少なくなっています。

また18年度末現在の市債（各種事業を行うために借り入れたお金など）の残高見込額は201億9,018万5千円となり、1人当たりになると72万7,365円となります。17年度末見込額（224億6,807万4千円）と比べると8万2,062円少なくなっています。

人口1人当たりの歳入歳出

歳入	17年度	18年度
市税	135,947円	128,045円
地方交付税	187,468	202,933
国庫支出金	50,585	53,070
市債	40,659	15,124
県支出金	72,806	36,506
繰入金	40,946	15,008
地方消費税交付金	8,549	9,006
地方譲与税	12,190	14,086
諸収入	5,994	3,360
使用料及び手数料	7,469	7,986
分担金及び負担金	7,672	6,782
その他	6,848	5,392
合計	577,133	497,298

歳出	17年度	18年度
人件費	101,457円	104,353円
扶助費	80,000	89,525
公債費	101,667	97,811
物件費	71,078	58,497
補助費等	79,548	77,446
普通建設事業費	80,363	14,734
繰出金	54,998	49,834
貸付金	3,640	1,487
維持補修費	2,821	2,460
その他	1,561	1,151
合計	577,133	497,298

※人口は、平成18年3月1日の住民基本台帳人口27,758人を用いています。